

湘南海岸風景

湘南海岸砂防林となぎさ散歩道

Column

砂草

河川から流出した砂は波や風に運ばれ砂丘を形成します。湘南海岸一帯は砂丘地帯でした。

砂丘は、高波を防ぐ天然の防波堤として機能しますが、強い風により砂が舞い飛ぶため、農地や宅地としての利用が難しい土地でした。

常に潮風や飛砂にさらされる厳しい環境で育つのが、ハマヒルガオなどの砂草と呼ばれる植物で、砂浜から砂が飛び去るのを防ぐとともに、みどりや花で砂浜に彩りを添えています。

湘南海岸では海近くまで開発が進み、

砂浜を彩り、飛砂を防ぐ砂草（ハマヒルガオ）



一方で砂浜が侵食され減少したことから、砂草が生育できる砂丘が激減しています。

今後、侵食対策が効果をあげ、豊かな砂浜が戻ったときに、再び砂浜を砂草が彩ることができるよう大切に守っています。



お問い合わせ

神奈川県藤沢土木事務所（汐見台庁舎）

〒253-0033 茅ヶ崎市汐見台 1-7

TEL.0467-58-1473



昭和5年
平塚須賀海岸魚付砂防造林地松苗の植え付け



昭和41年
藤沢市辻堂西海岸付近



平成18年
茅ヶ崎市南湖上空から見た砂防林



砂防林について

湘南海岸の砂防林は、潮風や飛砂の害を防ぐ役目をし、海岸地帯の住宅や道路を守る「なぎさのみどり」として皆さんに愛されています。



良好に生育した砂防林(相模川河口付近から西方を俯瞰)

砂防林の役割

神奈川県湘南海岸では、毎年10月～5月頃にかけて、低気圧の通過後など、強い南西風が吹き荒れ、潮風や飛砂で、海岸地域の住宅や道路に多くの被害をもたらしています。

湘南海岸砂防林は、こうした災害から暮らしを守るために育てている林です。

かつては現在の国道134号が砂で埋まるほどの被害が発生していましたが、現在では、一年を通じて飛砂による通行止めはありません。

砂浜の厳しい環境のなか、大きく成長した砂防林は、開発が進んだ沿岸地域において白砂青松の美しい景観に寄与する貴重な緑となっており、さらには炭酸ガスの吸収、騒音軽減、大災害時の火災延焼防止、津波被害の軽減など多様な働きが期待されています。



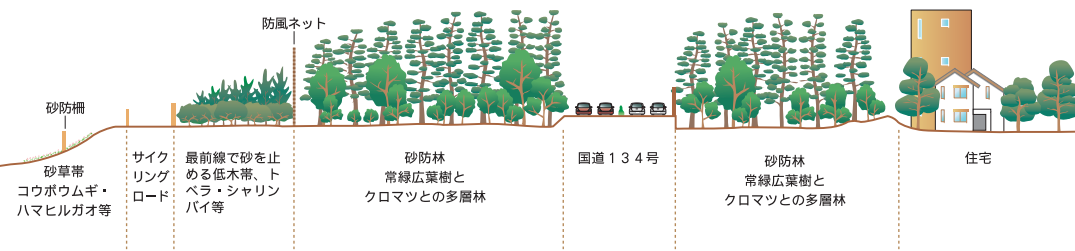
強風で砂に埋まったサイクリング道路

飛砂で煙るサイクリング道路

砂防林の強さのヒミツ

湘南海岸は、砂浜が狭く、砂粒は細かいため、波しぶきや砂が、砂防林に厳しく吹き付けます。このため、砂浜では、砂草の育成や砂防柵の設置により飛砂の発生を抑制し、さらに防風ネットを設置することにより、砂防林の生長を助けています。

また、砂防林は、帯状の狭い樹林帯ですが、クロマツほか合計15種類の大小様々な樹木で構成され、病虫害に強く、高い飛砂防止、防風機能を持っています。



最前線で砂を止める低木帯 (飛砂や強風で海岸近くの樹木は生長しない)



県立辻堂海浜公園付近の砂防林 かつては広大な砂丘だった

砂防林の現況

区分	概要
区域	藤沢市鵠沼海岸～大磯町東町
延長	11.4km
面積	85.2ha
植栽樹種 (15種類)	高木/クロマツ、タブノキ、ヒメユズリハ 中低木/アキグミ、ウバメガシ、スダジイ、モチノキ、ヤブニッケイ、ヤブツバキ、ヤマモモ、カクレミノ、ネズミモチ、トベラ、マサキ、シャリンバイ
砂草 (9種類)	コウボウムギ、ギョウギシバ、ケカモノハシ、チガヤ、コウボウシバ、ハマヒルガオ、ハマニガナ、ハマエンドウ、ハマゴウ



昭和3年 昭和天皇の即位記念事業の一環として、砂防林の造成に着手。

昭和5年／茅ヶ崎下石神魚付砂防造林地一帯



昭和5年／鵜沼橋西詰より

昭和6年 沿岸地域の開発促進のため、砂防林の中央を貫通して県道片瀬大磯線(湘南遊歩道路、現在の国道134号)が建設され、これを契機に沿道の植林も進む。

～昭和16年 造林、育成がすすみ、主にクロマツから成る砂防林が成林した。

昭和16年～ 第2次世界大戦が始まると、海岸地域は軍用演習地となり、昭和17年には海岸砂防事務所も閉鎖されるなど、砂防林の維持管理は中断。戦時中の松根油採取のための抜根や、終戦時の極度の燃料不足によるクロマツの盗伐などで砂防林は荒廃した。

昭和21年 砂防林の復旧に着手。戦後の砂防林の荒廃は、国道134号に飛砂による通行障害をもたらし、周辺の土地利用にも支障を及ぼすなど影響が大きかった。

～昭和37年 藤沢市鵜沼から大磯町南浜岳までの植栽が完了。

昭和36年～41年 昭和36年の大干ばつ、第2室戸台風襲来、昭和40年、昭和41年の台風など度重なる気象被害で度々多くのクロマツが枯死、砂防林は全面的に衰退し、地域一帯に飛砂や潮風による被害が及んだ。



昭和40年 相次ぐ被害を受け、農林水産省、県林業試験場、東京大学芝本農学博士らに造林、保護、育成について指導を仰ぐ。

昭和42年～57年 マツの他にトベラ、マサキを混植、全国で初めて防風ネットを設置し、3度目の砂防林整備を実施。

昭和58年 長期的により安定した砂防林を旨とし、クロマツのほか、常緑広葉樹の混交密植による多層林化を旨とし、横浜国立大学宮脇教授の指導のもと、スタジイ、タブノキ、ウバメガシ等の試験植栽を行う。

昭和62年 第1回1万人10万本植栽フェスティバルを開催。

平成2年 第2回2万人20万本植栽フェスティバルを開催。

平成3年 「しおさいの森」(林内散策路等)の整備に着手。

平成4年 海浜自然生態園・なぎさギャラリーオープン。

平成6年～18年 国道134号の拡幅に伴い砂防林の一部を改変。

これまでに沿岸地域は開発が進み、良好に生育した砂防林は貴重なみどりとしてなぎさを彩っている。



平成2年／第2回植樹フェスティバル(茅ヶ崎市柳島)



平成18年／林内を散策できる現在の砂防林(平塚市高浜台)

Column

サイクリングロード

湘南海岸のサイクリングロードは、国道134号の自転車歩行者専用道路として藤沢市鵜沼海岸4丁目の引地川河口付近から茅ヶ崎市柳島までの砂浜に沿って建設されており、散歩やジョギング、サイクリングを楽しむことができます。

このサイクリングロードは、国道の自動車交通量の増大に伴い、交通安全対策と青少年育成対策の面から建設が計画され、砂防林の造成のために既につくられていた人工砂丘や自然砂丘の上部を利用して、海岸砂防林と砂浜の境界付近に昭和43年から45年までに整備されました。

当初は、幅員が狭いところでは2.5mでし

たが、県民余暇活動の拡大に伴い、自転車道路へのニーズも大きく、また舗装面が傷んだこともあり、平成5年度から幅員4mへの拡幅工事を実施し、一部区間を除き完成しています。



砂防林の歴史

湘南海岸の砂防林は、昭和3年に湘南地域の環境保全を目的として主にクロマツを植栽したのが始まりです。



砂防林の保護と育成

砂防林を守るため、計画的かつ必要に応じて、次のような維持管理を行っています。



【砂防柵】砂の移動を防ぎ砂草や樹木を守る簡易な施設です。風や波で傷んだ場所は付け替えを行います。海岸風景の一部にもなっています。



【育林】樹木の生長に合わせて、数年間に1度、間伐(間引き)、枯枝打ち・剪定、つるきり等の手入れをします。

【植栽】飛砂や塩害に強い樹種を植栽します。植栽後数年は、除草、散水を行います。



砂防林の年間維持管理スケジュール

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
除草				■	■	■				■		
樹葉洗浄			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
植栽												■
砂防柵設置												
育林												
樹幹注入												
枯れマツ伐採	■											■
薬剤散布	■	■										



【防風ネット】飛砂や塩害から砂防林を守るための施設で、高さは概ね3~5m。適宜補修等を行います。

【樹葉洗浄】散水車(グリーンシャワー)で葉に付着した砂や塩分を洗浄します。

【病虫害防除】クロマツを害虫から守るため、薬剤散布、枯れマツの伐倒処理、樹の幹への薬剤注入を行います。

【除草】幼齢木の周囲や道路沿いなどで、砂防林の育成や周辺美化等のために夏期除草を行い、また、火災防止のために冬期除草(枯草刈り)を行います。

【苗圃】砂防林に植栽するクロマツやトベラ等の苗木を育成します。クロマツは砂防林から種を採取し育成します。

しおさいの森



砂防林を多くの県民のみならずにもっと知っていただき、また親しんでいただくことを目的として、砂防林沿線の公園などの施設と隣接して4カ所で休憩施設や散策道などの拠点整備を行い、地域にうるおいとやすらぎの場の提供を目指しています。

辻堂海岸地区



【概要】所在地：藤沢市辻堂西海岸3丁目 面積：約1.2ha、主な施設：散策路(延長594m 幅員1.8m)、休憩広場、平成7~12年度に整備。県立辻堂海浜公園と隣接し、同公園の「しょうなんの森」からは海を一望できます。

【交通】(1)JR東海道線辻堂駅南口から高砂経由辻堂西海岸行きバス「辻堂海浜公園入口」または「交通公園前」下車 (2)JR辻堂駅南口から鶴沼車庫行きバス「辻堂海浜公園前」下車 (3)辻堂海浜公園に有料駐車場有り。

茅ヶ崎海岸地区



【概要】所在地：茅ヶ崎市茅沼海岸、東海岸南4丁目、同6丁目 面積：約2.5ha、主な施設：散策路(延長1,070m 幅員1.8m)、見晴台、休憩広場、平成4~7年度に整備。ヘッドランドや砂浜のイベントデッキ(海岸ボードウォーク)に隣接。林内の見晴台からは海が一望できます。

【交通】(1)JR東海道線茅ヶ崎駅南口から徒歩15分又は同南口から東海岸循環茅ヶ崎駅南口バス「ヘッドランド入り口」下車 (2)国道134号沿い茅ヶ崎市東海岸南に茅ヶ崎市営駐車場(有料)有り。

柳島地区



【概要】所在地：茅ヶ崎市柳島 面積：約0.8ha、主な施設：散策路(延長390m 幅員1.8m)、四阿、見晴台、休憩広場、平成7~9年度に整備。柳島青少年キャンプ場と隣接しています。野鳥の声を聞きながら静かな散策ができます。

【交通】JR東海道線茅ヶ崎駅からバス「浜見平団地」下車から海岸方面へ徒歩10分。

平塚海岸地区



【概要】所在地：平塚市高浜台 面積：約3.9ha、主な施設：散策路(延長1,210m 幅員1.8m)、四阿、休憩広場、平成5~11年度に整備。平塚ビーチパークや平塚市湘南海岸公園と隣接しています。海水浴や砂浜でのスポーツの後、涼しい林内で一休みできます。

【交通】JR東海道線平塚駅南口から徒歩約10分。

なぎさの散歩道マップ

湘南海岸砂防林は国道134号に沿うように藤沢市の鵜沼海岸から大磯町東町まで、11.4kmの長さがあります。その周辺にはサイクリング道路をはじめ、数多くの公園やキャンプ場などのレクリエーション施設が点在しています。



Column

海岸侵食対策



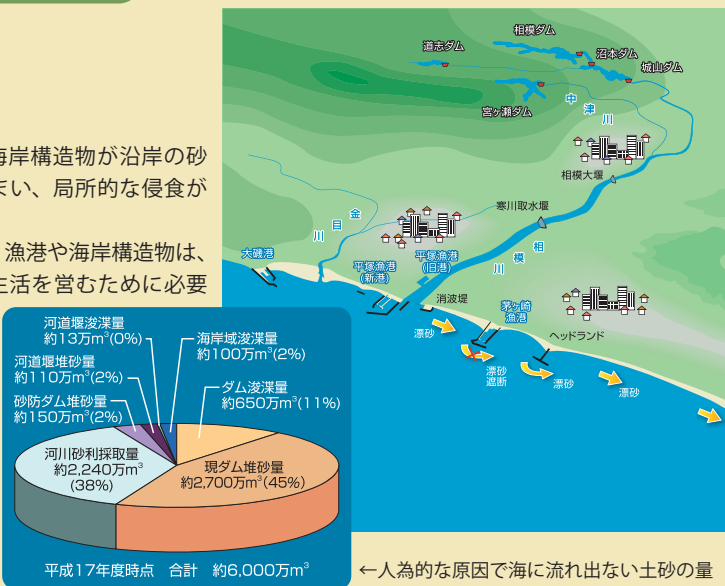
相模川から流出した土砂が、冬の西風によって東向きに運ばれ、辻堂砂丘を始め海岸域に砂丘地帯が発達しました。

ところが、相模川にダムや堰が建設されたり、河川での砂利採取が行われたりした結果、河川流出土砂量が激減し、砂浜全体が減少しました。

茅ヶ崎海岸は、主として相模川からの流出土砂が堆積してできた海岸です。

さらに、漁港や海岸構造物が沿岸の砂の移動を妨げてしまい、局所的な侵食が急激に進みました。

しかし、ダム、堰、漁港や海岸構造物は、それぞれ私たちの生活を営むために必要な施設であることから、ダムに堆積した砂を海岸に投入(養浜)するなど、山、川、海の関係機関が連携した取り組みが重要であると考えています。



茅ヶ崎サザンCモニュメント



ヘッドランドとイベントデッキ



湘南ひらつかビーチセンター



地引き網



ボードウォーク



県立湘南海岸公園サーフビレッジ前



休日のサイクリングロード



新江ノ島水族館

凡例

- サイクリングロード
- ボードウォーク
- しおさいの森
- 砂防林
- P 主な公共駐車場 (一部を除き有料)
- ♂ ♀ 主な公衆トイレ (一部を除き夜間閉鎖)

湘南海岸の公園

神奈川県立湘南海岸公園

正面に江の島を望み、振り返れば相模湾沿いに大きな弧を描く街並みや富士箱根伊豆が一望できます。また潮風を感じながら散歩が楽しめます。

公園の拠点である西部の「サーフビレッジ」は、ビーチスポーツやレクリエーション活動の拠点となっているほか、ライフセービング活動の基地としても活躍しています。

【お問い合わせ】湘南海岸公園管理事務所 TEL:0466-34-9912



新江ノ島水族館

海洋生物の宝庫である「相模湾と太平洋」と「生物」を基本テーマに、生物や標本を見るだけでなく、遊びながら学ぶことができる水族館です。また、潮の香りに包まれながら、絶景とプールが一体となった「イルカショースタジアム」で動物たちのパフォーマンスを楽しむことができます。

【お問い合わせ】新江ノ島水族館 TEL:0466-29-9960



神奈川県立辻堂海浜公園

子どもからお年寄りまで誰もが楽しめる「人と自然に優しい公園」。健康づくりのための遊具で体を動かし、「しょうなんの森」をぬけて砂浜へ散策。交通公園や交通展示館では、遊びながら、交通の歴史や未来を学び、さらに自転車などに乗って交通ルールを身につけることができます。また、ジャンププールは車いすの方も利用可能です。

【お問い合わせ】辻堂海浜公園管理事務所 TEL:0466-34-0011



神奈川県立湘南汐見台公園

サッカーや少年野球、ゲートボールなどが気軽に楽しめるスポーツ広場として、地域の人たちに利用されています。また、小さな子ども向けの遊具もあり、安心して遊ばせることができます。

【お問い合わせ】辻堂海浜公園管理事務所 TEL:0466-34-0011



海浜自然生態園・なぎさギャラリー

湘南海岸の砂防林は、潮風や飛砂の害を防ぐ役割をし、海岸地帯の住宅や道路を守ると共に、古くから緑の松林として人々に愛されています。

海浜自然生態園は、砂浜と砂防林を模して作られました。海岸に生育する砂草や林内の樹木を広く知っていただくための広場です。

なぎさギャラリーでは、津波災害、湘南ゆかりの文化資料、ビーチクリーン(かながわ海岸美化財団)や宇宙飛行士(茅ヶ崎市)等について、映像や展示をご覧ください。



海浜自然生態園



シャリンバイ

バラ科
名前は葉が輪生し、花がウメに似ていることから名前がつけました。



湘南海岸や海浜自然生態園で見られる植物



ウバメガシ ブナ科
海岸に多い常緑樹です。火力が強くて有名な、備長炭の原料です。

🌸 🍂 🌳 約10m



オカヒジキ アカザ科
若い茎や葉は食用になります。

🌸 🌸 🍂 🌳 10~40cm



コウボウシバ カヤツリグサ科
長い地下茎を伸ばして群生します。

🌸 🌸 🍂 🌳 10~20cm



コウボウムギ カヤツリグサ科
弘法大師の筆にちなんで、フデクサの別名もあります。

🌸 🌸 🍂 🌳 10~20cm



スダジイ ブナ科
秋に実る細長いドングリは、ほんのり甘く食べられます。

🌸 🍂 🌳 約10m



タブノキ クスノキ科
夏に黒紫色に熟す実は、小鳥たちのごちそうです。

🌸 🍂 🌳 約10m



ツワブキ キク科
晩秋に咲く鮮やかな黄花と、輝きのある濃緑色の葉が特徴です。若い葉柄は食用となります。

🌸 🌿 30~75cm



テリハノイバラ バラ科
つる植物で枝に鋭い刺、名前のように葉に光沢があります。

🌸 🌿 つる長2~3m



ハマグルマ キク科
葉の表面がネコの舌に似てざらつくことから、ネコノシタとも呼ばれています。

🌸 🌿 50~100cm



ハマゴウ クマツヅラ科
茎は砂の中を長く這って広がり、全体にユーカリに似た芳香があります。

🌸 🌿 0.3~0.7m



トベラ トベラ科
枝葉に悪臭があり、扉にはさんで鬼よけに用いたことからトビラノキとよばれます。

🌸 🌿 2~3m



ハマエンドウ マメ科
砂浜を這ってひろがる、スイートピーのなかまです。

🌸 🌿 つる長100cm



ハマナス ★ バラ科
海岸の砂地に群生します。赤く熟す実は甘味があって食べられます。

🌸 🌿 1~1.5m



ハマニガナ キク科
茎は地下茎となって砂の中を伸び、葉を砂上に出します

🌸 🌿 ~10cm



ハマオモト ★ ヒガンバナ科
夏に咲く白花は夜中に開き、強い芳香があります。別名ハマユウ、万葉集にも登場します。

🌸 🌿 50~80cm



ハマギク ★ キク科
茨城県から青森県までの太平洋岸に自生。古くから栽培されてきた日本特産種です。

🌸 🌿 50~100cm



ハマヒルガオ ヒルガオ科
厚く光沢のある葉とピンクの花が特徴です。

🌸 🌿 つる長50~100cm



ハマボウ ★ アオイ科
熱帯花木のハイビスカスの仲間、関東以南の暖地に自生します。花は一日花です。

🌸 🌿 1~2m



ハマボウフウ セリ科
若葉や若芽は食用や漢方薬になります。

5~40cm



ヒメユズリハ ユズリハ科
「姫譲葉」と書きます。明るくやわらかな緑の葉色が魅力で、葉はユズリハより小さい。

約8m



マサキ ニシキギ科
常緑で葉に光沢があります。秋にかわいい実をつけます。

1~5m



マルバシャリンバイ バラ科
シャリンバイの葉の丸いものです。海岸付近や乾燥したところでも育ちます。

1~2m



ヤブカンゾウ ユリ科
八重咲きの花は一日花です。若芽や花は食べられます。

約80cm



ヤブニッケイ クスノキ科
暖地に多い樹木で、葉をもむと特有なニッキの香りがします。

約8m

湘南海岸で周年見られるおもな野鳥



キジバト ハト科
♪テテッポーポー
♪クウ、ブン

ハトと同じくらい



シジュウカラ シジュウカラ科
♪ツツピン、ツツピン
♪チーチー、チッチュカラ、ジュクジュクジュク

スズメより少し小さい



ハクセキレイ セキレイ科
♪チュチン チュイチー
♪チュチュン、チュチュン

ムクドリより少し小さい



ヒヨドリ ヒヨドリ科
♪ピイッ、ピイッ、ピーヨ ピーヨ ピークリリ ピーチュルリ

ムクドリと同じくらい



ホオジロ ホオジロ科
♪チョッピーチチ ピツーチリリ
♪チチッ、チチッ

スズメより少し大きい



モズ モズ科
♪キーキー キチキチキチ、キュン キュン キイキイキイキイ

ムクドリより少し小さい

